

付けたい力
 (学習指導要領の指導事項) ・段落相互の関係を考えながら、絵や写真を使って説明する文章内容を読む力(C(1)イ)
 ・目的に適した事例を複数あげながら説明する文章を書く力(B(1)ウ)

単元名 「なるほど！食べ物のひみつ図かんを作ろう」

単元を通して行う言語活動【食べ物のひみつを書いた図書を読み、自分が調べた食べ物の説明をする文章を書く】

【言語活動のモデル】	次	第一次 教材文「食べ物のひみつを教えます」を読む	第二次「読むこと」教材文「すがたをかえる大豆」を読む	第三次「書くこと」										
時	1	2「書くこと」	3「書くこと」	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
『なるほど！○○のひみつ図かん』 ○はじめ(説明するもの) ○中(加工の仕方について例を挙げた説明する文章、つなぎ言葉を入れる) ○終わり(まとめ) ○言いたいことを補足させる図や写真 ※調べて発見したおどろきを伝えたいもの、読み手が分かりやすいものになることを大切に指導する。	【並行読書】食べ物の加工の仕方が載っている絵本や図鑑 →自分が書く図鑑の材料にする													
○学習のねらい ・学習活動	○食材がすがたをかえていることに関心をもつ。 ・大豆クイズをして、大豆について知っていることを出し合う。 ・大豆がいろいろな食品にすがたをかえていることに焦点をあてる。	○単元全体の学習の見通しをもつ。 ・単元の目標を確かめる。 ・指導者自作の『なるほど！大豆のひみつ図かん』を提示し、完成するまでの学習過程を考える。 ・調べてみたいことを仮決定する。	○本や図鑑を使った調べ方を知る。 ・教科書p.39～41右上を読み、材料集めの手順を知る。 ・本や図鑑を使った調べ方を知る。 ・ワークシートを使って、自分が書く図鑑の材料集めをする。大豆を例にしてワークシートを試してみる。	○これまでの学習で学んだことを整理する。 ・これまでの学習を振り返る。 ・どのような学習をしてきたか、整理する。	○文章構成の工夫を見つける。 ・教科書の挿絵の並べ替えを通して、挙げる順番について考える。 (気付かせたい説明の工夫…説明の工夫…)	○段落構成の工夫を見つける。 ・作者の並べ方から、段落構成の工夫について考える。 (気付かせたい説明の工夫…説明の工夫…)	○わかりやすい文章の書き方を見つける。 ・教材文を詳しく読み、わかりやすい文章の書き方を考える。 (気付かせたい説明の工夫…説明の工夫…)	○説明の工夫について整理する。 ・教材文での学習を振り返り、学んだ説明の工夫について整理する。	○文章の組み立てを考える。 ・調べてきたものの中から、図鑑に書きたい食べ物を選ぶ。 ・指導者や教科書のモデルを読み、食品の例の挙げ方に着目する。 ・自分の図鑑で例を挙げる順序を考える。 ・グループの友だちと交流し、自分の組み立てを決める。	○文章部分の下書きをする。 ・学級全体でどのような段落構成をしたらよいかを考える。 ・自分で文章全体の段落構成を考える。 ・説明の工夫を思い出し、文章を書く。 ※説明の工夫…「はじめ」「中」「終わり」、つなぎ言葉等	○図や写真の使い方を考える。 ・友だちと前時の例を取り、図や写真の使い方を考える。 ・文章部分の下書きを完成する。	○自分の図鑑を完成させる。 ・学級全体で一つの例を取り、図や写真の使い方を思い出し、自分の図鑑に使う図や写真を選ぶ。使う位置を決める。	○完成した図鑑を読み合い、学習を振り返る。 ・友だちと『なるほど！○○のひみつ図かん』を読み合い、説明の工夫がさかめられているか確かめる。 ・教科書p.43の「たいせつ」や振り返しシートで身に付けた力について確かめる。	
【他教科等との関連】 ・友だちの作品と合わせて、図かんを作り、学年の廊下で自由に読めるようにする。 ・昨年度、学習をした4年生または次年度学習をする2年生に読んでもらう。	・食べ物に工夫を加えていろいろな食品に食べていることに興味を示している。	・本単元の学習の流れを知り、調べたいことを挙げて意欲的な反応をしている。	・ワークシートに調べたことを書いている。	・これまでの学習を積極的に思い出そうとしている。	・食品の例がどの順序で書かれているのかを、理由を考えて述べている。	・段落がつながっている所に着目して印を付したり、発表したりしている。	・大事な言葉や文と写真の使い方について、印を付したり、大事だと思ふ理由を述べてたりしている。	・説明の工夫について述べている。	・食品の例を挙げる順序を考え、その理由を話している。	・第6時で学習したことを思い出し、生かしたりしながら、文章部分を書いている。	・説明の工夫を生かしながら、文章部分を書こうとしている。	・第7時で学習したことを思い出し、自分の表現にかかっているか述べている。	・説明の工夫を自分の表現に生かしているか述べている。	①友だちの作品を読み、一つ以上、工夫している所を見つけている。 ②学習を思い出して自己評価をしている。
学びの姿(B)の評価と指導 【おおむね満足できる姿(B)を設定し、そこに達しない児童への具体的な支援の方策を立てる】	・本単元では、食べ物に工夫を加えていることに着目することを伝える。	・具体的な食品を話題にする等して、興味を持てる言葉かけをする。	・同じ食べ物を選んだ友だちと一緒に調べる。	・既習の教材文や学習内容を挙げたり、使っていた教科書を見せたりして、振り返りやすいようにする。	・挿絵を見比べ、気付くことを話させる。	・段落のはじめの言葉に着目させる。	・説明の工夫が少ないモデルと教材文を比べて、違う所に印を付けさせる。	・掲示物やこれまでの学習のメモ、友だちの発言を参考にしながら、説明の工夫を振り返らせる。	・モデルや教材文、友だちが考えを参考にさせて、順序を決めさせる。	・文型やつなぎ言葉を記したワークシートを用意し、自分の選んだ食材について書かせる。	・説明の工夫の具体的な使い方を教えて、文書を書かせる。	・友だちにどの部分にどの図や写真を選んだかを聞いて、自分が使うものを選ばせる。	・友だちや指導者に助言をもらい、説明の工夫ができていないか確かめる。	①友だちの発表を聞き、同じだと思う考えを言うようにさせる。 ②指導者が学習の状況を伝える。